

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	魚種転換支援事業補助金	開始 年 度	平成30年度
団 体 名	函館市内のイカ加工業者	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☐ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	魚種転換支援事業補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館市内のイカ加工業者が行う魚種転換（イカ以外の農水産物や、加工原料として利用頻度の低いイカの部位や種類を新たな加工原料として使用した新商品製造ラインの導入・改修）の取組に対し、補助金を交付する。（補助率1/2）
目 的	（目 的） 本市の基幹産業である水産加工業は特にイカを主とした加工業者が多くを占めるが、イカ漁獲量の減少が続く中で、本市の水産加工業を将来に渡って持続可能なものとするためには、中長期的な支援策として、イカ以外の魚種への転換を支援することによって、過度のイカ一極集中から脱却し、経営のリスク分散を図っていく必要がある。
・ 効 果	（効 果） 本補助金をインセンティブとしてイカ加工業者の魚種転換を後押しすることにより、イカ加工業者の経営リスクが分散され、本市の基幹産業である水産加工業の経営安定化および活性化が期待される。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収 入	R元	18,851 [18,851]					18,851 [18,851]	37,702 [37,702]
	R2	38,870 [38,870]					38,870 [38,870]	77,740 [77,740]
	R3	8,324 [8,324]					8,325 [8,325]	16,649 [16,649]
	R4	8,265 [8,265]					8,265 [8,265]	16,530 [16,530]
	R5	15,640 [15,640]					15,640 [15,640]	31,280 [31,280]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R元			37,702 [37,702]				37,702 [37,702]
	R2			77,740 [77,740]				77,740 [77,740]
	R3			16,649 [16,649]				16,649 [16,649]
	R4			16,530 [16,530]				16,530 [16,530]
	R5			31,280 [31,280]				31,280 [31,280]

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	魚種転換支援事業補助金
----------------	-------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	本市の基幹産業である水産加工業を持続可能なものとしていくための中長期的な支援策として、イカ加工業者が経営のリスク分散を図るための魚種転換の取組を支援するものである。実施4年目となる令和3年度も多数の活用相談が寄せられおり、一定のニーズが見込まれている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☐	☐	本市の基幹産業である水産加工業を持続可能なものとするが期待され、地域経済への波及効果が大きい事業である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☐	☐	従来利用していたイカに代わる原材料による新商品開発に取り組むことで、経営のリスク分散を図り、経営の安定化を推し進めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☐	☐	業界からは、本事業以外に望む支援策として、下水道使用料など公共料金の引き下げなどが挙げられているが現実的でなく、現時点では本制度が最もシンプルかつ効果的な手段であると考えてい

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	魚種転換支援事業補助金
----------------	-------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
・魚種転換支援事業による補助金交付件数, 設備投資額の増加度見合い。 ・補助事業者へのヒアリング。	
(達成状況)	
平成30年度	5件
令和元年度	8件
令和2年度	10件
令和3年度	3件
令和4年度	3件
令和5年度	4件



(評価)	(理由)
☐ 十分効果をあげている ☐ 一定の効果をあげている ☐ 効果が疑問である ☐ その他	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続 ☐ 見直したうえで補助を継続 ☐ 廃止 ☐ その他	(見直しの内容) (見直しの時期)
(廃止の理由) 制度開始から令和5年度で6年となり、本制度が利用され、魚種転換は一定程度図られたものと捉えていることから、新たな支援策を行う (廃止の時期) 令和5年度で終了	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止 ☐ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 年度		令和 年度